



はぐ便り

2019年
8月号
【第67号】

こんにちは☀️夏休みが終わりましたね！お子さんとはどんな時間を過ごしましたか？
小学生のお子さんをお持ちの方は、工作や自由研究、読書感想文など、宿題を終わらせるのに
ひと苦労された方も多いのではないのでしょうか？わが家も例外ではなく…小4の長男のやる気を
あの手この手で引き出し、何とか2学期を迎えることができました！！



家族の防災・減災意識を高めよう！

盛岡は美しい山々に囲まれ、私たちは北上川・栗石川・中津川などの
大きな河川のそばで暮らしています。豊かな自然に育まれている反面、地震
や大雨、岩手山の火山活動等、自然現象による様々な災害の危険と隣り
合わせとも言えます。

盛岡市では、主要河川の洪水浸水想定区域など最新の情報を反映した新たな「盛岡市防災
マップ」を昨年作成しました。災害が発生したときに、自宅・学校・職場などの周辺にどのような災害の
危険性があるのか、また最寄りの避難場所やマンション・アパートなどの避難経路の確認など、ご
家庭での防災の取り組みについて、今一度考えてみましょう！

できることから やってみよう💡



日ごろからご近所づきあいを
大切にしよう！災害時に
大きな助けになることもあるよ！

安全な自宅づくり

- ・家具を固定する。
- ・ガラス飛散防止フィルムを貼る。
- ・背の高い家具のそばには寝ない。

安否確認の方法

- ・安否確認システムを利用する。（利用方法などを事前に確認しておく、いざという時にスムーズですね。）

①例・災害用伝言ダイヤル(171)・Google パーソンファインダー
・災害用伝言版(web171)・J-anpi ~安否情報検索etc

自分の家族に合った備え

- ・非常持ち出し袋を用意する。（小さいお子さんがいるご家庭は、おむつやおしりふき、ミルク、離乳食など。災害時に便利な液体ミルクもオススメ。実際に使ってみて、慣れておくことも大切です。）
- ・中身を定期的に見直す。（お子さんの成長とともに必要なものも変わりますね。）
- ・非常持ち出し袋の保管場所を工夫する。（玄関、寝室、車内、物置など）

様々な状況を想定する

- ・もしも屋外にいる時に災害が起きたらどう行動するか、一緒に歩きながら確認する。（公園にいたら…下校中だったら…など）

集合場所の確認

- ・家族の約束事を決める。（多くの人が集まる避難所でも確実に会えるように「〇〇小学校の体育館の入口に午前〇時に集合」などと具体的に決めよう。定期的に確認し合うこともお忘れなく！）

わが家の次男の幼稚園では、毎月様々な災害を想定して避難訓練を行っています。そこで学んだことが
しっかりと身についているようで、普段から地震の揺れを感じると真先にテーブルの下にもぐり込んでいます。
災害時にどのような対応をとるべきか、日常の会話の中で防災について話す機会をもつことも大切ですね😊

盛岡市家庭教育情報通信『はぐ便り』

2019年8月号【通号67号】 令和元年8月20日発行

発行者・問合せ 盛岡市教育委員会 生涯学習課

住所：盛岡市津志田14-37-2

TEL：019-639-9046 FAX：019-639-1516

E-mail：edu.sgs@city.morioka.iwate.jp



タトズック
中から砂が
エンドレス



『ズック』は
岩手弁だよ！
知ってた？

ご感想

← お問い合わせはこちら